

第2次元気アップおがわプラン（小川町健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画）（案）に係る
パブリックコメント
（結果）

令和7年3月 小川町

1. 概 要

- (1) 実施期間 令和6年12月1日(日)～12月31日(火)
- (2) 意見提出者数4人(町内:2人、町外:2人)
- (3) 意見数 4件

2. 第2次元気アップおがわプラン(小川町健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)(案)についてのご意見と町の考え方

第2次元気アップおがわプラン(小川町健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)(案)について、パブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見をいただきました。ご意見とご意見に対する町の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

収受No.. — (意見No..)	ご意見（概要）	町の考え方
1	<p>食べたもので体が作られることを考えると、何を食べるかということは健康の第１歩だと考えます。</p> <p>有機農産物は慣行農産物に比べて栄養価が高いと言われています。それらを積極的に摂ることは健康増進につながると考えます。</p> <p>町内にはたくさんの有機農家がいるので、それを活かしたまちづくりを考えて欲しいです。小川町は県内で唯一「オーガニックビレッジ宣言」をした自治体です。それに見合う取り組みを全庁的に考えていけば宣言にある、「有機の里おがわ」を持続発展させる好循環システムを構築する仕組みづくり、ができると思います。</p> <p>有機農家とその農産物を活かした魅力ある町づくりを目指して、課を超えて取り組んで欲しいです。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>野菜の積極的な摂取は、生活習慣病等を予防し、健康づくりに欠かせないものです。循環型農業を実践する小川町は「有機の里おがわ」としても知られ、有機農業を活用した食育等を推進しています。</p> <p>本計画の策定に当たり実施したアンケートの結果からも、町民の皆様の地元農産物に対する関心は高く、本計画（案）におきましても、食育推進計画に相当する部分（P29～P37）には、行政の取り組みとして、町内産農産物の地産地消・消費拡大について記載しております。</p> <p>町民の皆様に対し、有機農産物をはじめとした町内産農産物の地元消費拡大への取組や野菜摂取の健康への効用等について情報発信することは、当町の特色を活かした食育において大切な視点であると考えますので、食を通じた健康増進に向けて課を超えて連携・協働してまいります。</p> <p style="text-align: right;">計画案の修正→修正しない</p>

2	<p>私どもは中小零細なたばこ店で構成する販売組合組織です。私どもでは長年に亘ってたばこ事業法の「財政収入の安定的確保、国民経済の健全な発展に資する」との目的に沿って、たばこ販売を通じ小川町の年間1億6千万を超えるたばこ税収確保にも大きく貢献しているものと自負しております。現在貴町において検討中の「第2次元気アップおがわプラン」について以下のとおり意見させていただきます。</p> <p>「受動喫煙の機会が無かった人の割合の増加80%以上」といった目標値がどのような根拠に基づくものなのか、不明です。煙草は法で認められている大人の嗜好品であり、貴町にも一定数の喫煙者がいます。望まない受動喫煙の機会低減を目指すのであれば、吸われる方と吸われない方が共存できる分煙社会の実現に向けた取り組みが重要なのではないのでしょうか。そのためには、公共の場に「吸われない方への配慮を施した喫煙所」を整備することが行政としての責務であると考えます。</p> <p>「分煙環境を整備することで、望まない受動喫煙の防止と、歩きたばこやポイ捨ての減少による街の美化、更には地方自治体の安定したたばこ税収集確保に繋がる」ということが、総務省通知でも令和2年以降</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>たばこは個人の嗜好品であり、本計画におきましても、健康保持の観点から「禁煙を促す」ことの必要性には触れておりますが、個人の喫煙自体を否定するものではありません。また、たばこ税が市町村にとっても貴重な一般財源の一つになっていることも承知しております。</p> <p>当町といたしましては、望まない受動喫煙を防止することが、町民の皆様の健康に対する配慮として大切にすべき視点との認識に立ち、本計画の策定に当たり実施したアンケート調査の結果をもとに、「受動喫煙の機会がなかった人の増加」という評価指標（令和5年現状値：57.7%）を設け、現状値からの更なる改善への期待を込めた目標値（80%）を設定したものでございます。</p> <p>具体的に受動喫煙の防止を推進するためには、喫煙者の方々の意識向上（マナーやルールを守る等）、これに資する啓発活動、そして地域や各種団体の皆様のご理解が必要であることから、「連携・協働の推進」における一つの例として、この指標を設けたものでございます。</p> <p>ご指摘のとおり、分煙施設の設置など、分煙環境の整備は、歩きたばこやポイ捨ての減少、受動喫煙の防止にも寄与することが期待され、国でも有効な手段と捉えて</p>
---	---	---

	<p>毎年のように発信されており、分煙環境整備の必要性は高まっていると言えます。</p> <p>ぜひ、喫煙者を排除するような一方的で偏った考え方や議論でなく、たばこを吸われる方と吸われない方の共存社会の実現を前提とした議論を強く要望いたします。何とぞご理解をいただけますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>おります。しかしながら、当町の現状におきましては、健康増進法の改正を踏まえ、町施設の敷地内禁煙を実施していることから、公共用地への分煙施設の設置には、課題があるものと考えております。</p> <p>一方で、分煙環境の整備は、喫煙される方と喫煙されない方が互いへの思いやりを通じて、受動喫煙の防止につながる一助になるものと考えております。今後、当町において受動喫煙の防止について検討する際には、こうした考え方（民間との協力も含む）も含め、必要に応じて検討してまいりたいと考えております。</p> <p>【計画案の修正】→修正しない</p>
3	<p>自殺の状況について</p> <p>小川町は、自殺者が国、県を上回っています。原因を2つの側面から見ていく必要があります。</p> <p>①年代別自殺者数80歳以上が多く、自殺原因・動機も健康問題が、79.2%（国39.2%・県62.2%）と大きく上回ります。</p> <p>※医療の問題、福祉の問題が大きくかかわっていると</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>当町の自殺者の特徴として、30代・60代・80代の自殺者数の割合が県・国を上回り、その要因として健康問題が約8割を占めています。医療の問題として、慢性疾患等の継続的な身体の苦痛がうつ病等の引き金となると言われ、福祉の問題としては、近親者の死亡等の環境変化や家庭内の人間関係のもつれ、孤独感などが自殺の大きな要因と考</p>

	<p>思います。例えばデマンドタクシーの値上げの問題は高齢者の個立化（精神）・フレイルの低下につながります。</p> <p>②地域のつながりの状況（つながりの強さ）</p> <p>地域別では、大河地区や八和田地区は４割が強いと思います、竹沢地区・みどりが丘地区・東小川地区では２割未満。地域内で見守りの輪を広げていけるように官民で協力していく必要があると思います。</p>	<p>えられます。地域のかかりつけ医との連携や、地域の見守り活動を推進し、地域のつながりによる孤独の防止や、生きがいづくりの場等の創出など、地域や町内関係機関、庁内関係課と連携・協働しながら、自殺予防につながる仕組みを構築し、地域で支えあう体制づくりにさらに取り組んでまいります。</p> <p>また、自殺対策は行政の役割も重要ですが、行政だけでは解決しない問題であることから、各々の立場でご協力いただけるよう、普及・啓発に努めてまいります。</p> <p>※意見提出書に記載の統計については、 「①」は計画Ｐ１５に、「②」は計画Ｐ７４にデータの記載があります。</p> <p>【計画案の修正】→修正しない</p>
4	<p>Ｐ６７「（３）いのちを支える体制の充実【自殺対策計画】」のところ（具体的には、Ｐ７２、Ｐ７３）</p> <p>「自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ」ことを何らかの形で記してください。（首吊り自殺や練炭自殺の未</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>自殺未遂者は再度の自殺の危険性が高いため、ご本人の身体的治療に加え、精神的な治療につなげることや、家族を支え、地域ぐるみの周囲の見守り体制を構築することが</p>

	<p>遂で高次脳機能障害となる方もおられるので)</p> <p>私どもは、埼玉県の実業「高次脳機能障害ピア・カウンセリング事業」を受託し、家族の立場で高次脳機能障害についての電話相談などに応じております。また、埼玉県高次脳機能障害支援体制整備推進委員会の委員を理事の一人が拝命しております。</p>	<p>大切です。再度の自殺企図を未然に防ぐためのゲートキーパーをはじめとした情報提供・啓発に努めます。</p> <p>いただいた御意見を参考に、P 7 0【課題】②を以下のとおり加筆・修正致します。</p> <p>(修正後) 自殺者や自殺未遂者の背景にある危機経路などを認識し、自殺企図を未然に防ぐ必要があります。</p> <p>(修正前) 自殺者の背景にある危機経路などを認識しておく必要があります。</p> <p>【計画案の修正】→ご指摘の考え方をふまえ修正します。</p>
--	---	---

※ ご提出いただいたご意見については、原文のまま掲載しています。